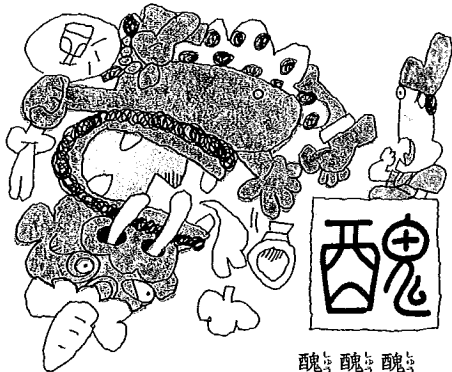


# 醜

シユウ  
みにくい

17画 酉 酉 酉 醜 醜

なりたち 醜い顔の鬼と、飲むと醜い姿になりやすい酒の意味の酉との会意形声字で、「醜(見難(ひ)い)見えて居難い」という意味を表した字。



▼醜い。とても見ていられない。  
美しいか醜いか、ということ。  
醜悪：美しいことと醜いこと。美しいか醜いか、ということ。

醜悪：見るに耐えないほど悪いこと。余りにも悪くて見苦しいこと。  
醜態：醜い姿。見苦しい振る舞い。「態」は態度、姿の意味。  
用例 酒を飲み、醜態を演じた。  
醜行：醜い行い。  
醜状：醜い状態(有様)。  
醜聞：醜い聞こえ、ということ。で、悪い評判。特に、男女人間の悪いうわさ。



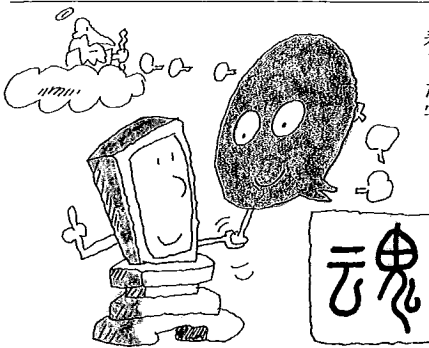
# 醜魂

# 魂

コン  
たましい

14画 二 云 魂 魂 魂

なりたち 死者の靈魂をかたどり、靈魂の意味を表した鬼と、死者の靈魂のとどまる天上の雲の本字、云(心)との会意形声字。「靈魂(たましい)」を表した字。



▼醜魂。醜い魂。  
魂胆：①魂心。「胆」は胆(は)つ玉と呼ばれ、魂を養うところとされた。②考え。たくらみ。誤。用例 何の魂胆があつてそんなことをしたのか分らない。  
靈魂：「靈」も魂の意味。「魂」は本来は神の心(精神)。これが人に宿つて魂となり、人の心(精神)を司(つかさど)る。  
心魂：心の奥底(魂は心の奥底に宿っていると考えられているので)。  
亡魂：死者の魂。亡霊。  
英魂：英雄の魂という言葉で死者の霊の敬称。英霊。  
招魂：死者の霊を招いて祭ること。例 招魂祭。  
よみかた 商魂・幽魂



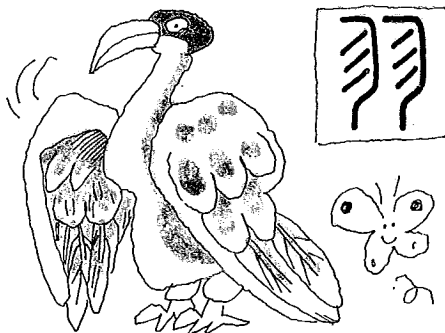
# 羽

ウ  
は・はね

2年

6画 一 一 羽 羽 羽

なりたち 旧字体は羽。本字は羽。鳥の翼の形をかたどり翼の意味を表した象形字。鳥の「羽」の意味に使われる。



いみじゆく

▼鳥の羽。羽。

羽毛：鳥の羽。

羽化：①昆虫類が変態し、羽が生えて成虫になること。

②中国の古い信仰で人体に羽が生えて仙人になること。

羽音：鳥や虫が飛ぶ時に生ずる「羽」の音。

尾羽：鳥の尾と羽。落ちぶれてみすばらしい(身なりが悪い)ことを「尾羽打ち枯らす」という。

白羽：白い矢の羽。多くの人の中から特に選ばれることを「白羽の矢が立つ」という。

羽衣：鳥の羽で作った衣服で、天女が着て空を飛ぶといわれる。

羽織：着物の上に着る(これを「羽織る」という)短い衣服。



# 羽習

# 習

シユウ  
ならう

3年

11画 一 习 习 习 习 习

なりたち 羽と白との会意字で、羽の白い雛鳥(習)が羽を繰り返し動かしてついに飛べるようになることを表した字。「習」は「白」を繰り返してする。その事に慣れるようにする。ことを表した。転じて、「習わし」。



いみじゆく

▼習う。同じ事を繰り返して慣れる。

習得：同じ事を何度も繰り返して身に付けること。

習熟：同じ事を何度も繰り返してよくできるようにすること。

用例 英語に習熟すること。

習学：学校などで系統的に学んで、色々な知識や技術を身に付けること。

練習：学問や技術を繰り返して習うこと。

復習：一度教わったことを、自分で繰り返して身に付けること。

習わし。仕来り。

習慣：長い間繰り返した結果生まれた仕来りや癖。

習俗：昔からの習慣や風俗を習わし。

よみかた 習作・習字・習癖・悪習・奇習・教習・常習